

購読申込書

民主文学購読費  
月額 970円送料込み

月 日

いずれかに○印を  
つけてください

「ある『戦時下世代』の軌跡」連載中の購読する

一月号より定期購読する

電話番号

ご住所〒

—

日本民主主義文学会 FAX番号03(566)0000(10400000)(6)

お名前

★左の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接自宅にお送りします。

# 民主文学

いちばん身近な文芸誌

毎月8日発売

## 1月号より新連載スタート

編集・発売 日本民主主義文学会

TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202号



# 平和・真理・愛を求め続けた半生をつづる



柏 朔司 (かしわ さくじ)

1931年、仙台生まれ。盛岡市在住。  
1950年東北大イールズ闘争に参加。  
1953年岩手県久慈高校教諭。  
1961年学力テスト反対闘争で免職処分  
を受け、地方公務員法違反で被告人。  
仙台高裁で無罪になるも最高裁で有罪。  
共産党専従となり、国政選挙、知事選  
に立候補。「テスト・ブリッジ」で日  
教組第4回文学賞受賞。

著書『テスト・ブリッジ』『水緒し  
絶えずば』(共著)『風花の頃』他。

### 筆者のことば

「満州事変」の年に生れて、旧制中学三年生の時、勤労働員先の国鉄で敗戦を迎えた。疾風怒涛の転換期に「無産の民よ決起せよ」の歌声に励まされて目覚める。そして新制高校三年生の私は多喜二の「1928年3月15日」の拷問の描写にたじろぎながらも意を決してルピコンを渡った。

岩手県教職員組合の執行委員として「学力テスト反対闘争」で逮捕された時、検事は私の経歴書を眺めながら「学生の時は学生運動、教員になってからは教員組合活動か」と悪態をついた。だが私は「時代の子」、自由にあこがれて闘ったまでである。

イールズ闘争も「学テ」もそして裁判も選挙も闘って無駄なものとなかった。それらと絡まりあつての人々との巡り会いや連帯もまた得難い歓喜である。

### 東北大イールズ闘争、学力テスト反対闘争、私は時代の子として闘った

### 「この機会に、『民主文学』をぜひ購読ください」

柏朔司さんの魅力の新連載「ある『戦時下世代』の軌跡」  
時下を母子家庭に過ごした頃、友人から誘われ同人誌に参加、戦  
災者住宅に引っかかれました。  
占領下から民間情報教育局顧問としての活動を始め、東大で  
は大学から追放された学生として、共産主義的教授  
に留学し、立往生を喫した。その間に、戦時下の教育者として  
受けた、いろいろな教育者としての経験を、この連載で分る。  
師範学校時代の、全国的な教育者としての経験を、この連載で分る。  
配と、選別教育、全国学力テストの導入、対立、破綻、訴訟、闘争  
方針を掲げ、岩手県で、この闘い、八十五パーセントの学  
止され、日教組の文学賞に応募し、受賞します。  
とくに、日教組の文学賞に応募し、受賞します。  
文壇の盛岡支部長を務める柏さんの文学への情熱。今も民主  
待学だの盛岡支部長を務める柏さんの文学への情熱。今も民主

柏朔司さんの魅力の新連載「ある『戦時下世代』の軌跡」

# ある『戦時下世代』の軌跡